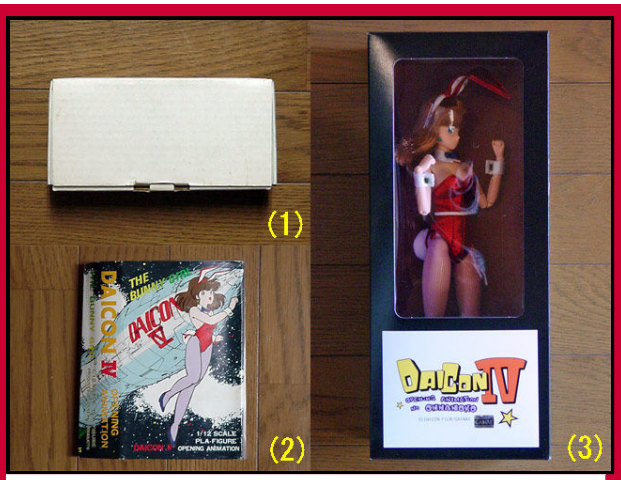
第10回　DAICON IV の女の子（ゼネラルプロダクツ）の巻

今回は10回記念ということで、恐らく**日本一有名な名無しキャラ**、DAICON IV の女の子を取り上げたいと思います。　日本SF大会は毎年**日本各県の持ち回りで行われるイベント**で、地元の大学が大会運営及びオープニングフィルムを含めた開閉会式の準備にあたる事が慣例となっています。その際、開催県がわかるような愛称がつけられることになっており、第22回「DAICON IV」は大阪での4回目のコンベンションを指します（ちなみに**第26回石川大会「URACON'87」には私もスタッフとして参加**した）。「DAICON IV」のオープニングは2年前に好評を博した「DAICON III」のそれの続きにあたり、引き続き大阪芸大有志が中心となって、**前作のあらゆる面がグレードアップ**される形で制作されました。もっとも、実際には**SF大会会場でこのオープニングを見た人数よりも**後日販売された「DAICON III」と「IV」のオープニングフィルムを収録した**ビデオソフトで見た人数の方が明らかに多く**（VHSで1本13,000円であったが**考えられない位売れたという**。販売を受け持ったのは大阪のSFショップ「ゼネラルプロダクツ（以下「ゼネプロ」と略記）」、今日の「GAINAX」の前身である）、かく申す**私もその一人**です。大学生になって、先輩に見せて頂いた時の感動は忘れられません。「懐かしのアニメ・特撮のいい所取り」と言うのは簡単ですが、**それだけに終わらない魅力**が詰まっていました。

なお、「DAICON IV」に登場する**バニーガール姿**（「DAICON III」とは異なり途中でコスチュームが変更することはない）の女の子（キャラクターデザインは「プリンセスメーカー」の赤井孝美）は「DAICON III」でランドセルを背負っていたのが**美しく成長した**という設定で、各種ロボットや怪獣・怪人相手に**華麗なアクションを披露**してくれますが、相変わらず**名前は設定されていません**でした。

ゼネプロからはビデオソフトの他に様々な「DAICON」グッズが発売されており、今回取り上げるソフトビニールキットもそのひとつです。その頃ガレージキットに導入され始めた**安価で軽量な素材**・ソフトビニール製の組立キットです（このキットの塗装済完成品というのを当時行き付けの模型店で目撃しましたが、**地方ゆえ二度と入荷せず**悲しい思いをしました）。画像のものは勤めてから日本橋の中古ショップで見かけて**（職場の研修旅行中でしたが）即買い**したものです。一緒に映っているティッシュは箱に入っていたのですが、元々付属していたかものかどうか詳細は不明です。プロポーションは劇中より心持ちふっくらしており（パッケージ写真）、**これはこれで可愛いです**。



キットデータ	
メーカー	ゼネラルプロダクツ
スケール	*1／6*
当時価格	*3000円*（税抜）

DAICON Ⅳの女の子のキット**全てをフォローすることは出来ませんでした**が、コレクションの中から幾つか紹介しましょう（左はクリッカブルマップとなっています）。

(1)ゼネプロ製1/12メタルキット（4000円）　某オクで購入。箱は単なる段ボール製の箱、それが普通でした。劇中女の子がスケートボードよろしく乗り回すロトの剣が付属するのがポイント高し。

(2)ゼネプロ製1/12レジンキット（3000円）　某オクで組み立て中のものを購入。カラー印刷の組立説明書が付属するようになりました。(1)と良く似たポーズですが分割が異なっています（対比画像）。剣は付属しません。

(3)プリンセスストリート製1/6ドール（12000円）　現在も入手可能です。頭部は若干面長で劇中の雰囲気をよく再現しています。オビツボディ製27cm可動ボディ（ソフトバスト）に布製バニー服が組み合わされており、自由なポーズ付けが可能。

個人的にはこのプリンセスストリートのドールで**止め刺された**感じです。あとは同スケールでロトの剣を用意してボディをボークスのエレガントボディに換装すれば完璧かと。といいつつ気が付いたらこんなものまで買ってしまっている自分…**バニー恐るべし。**

Next　Kit　is…

三段変形

ブラウザの機能を用いて閉じて下さい